

日本にいなかったニホンイトヨリという名前の魚を日本で初めて確認

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学総合研究博物館とかごしま水族館の研究チームは、種子島で採集されたイトヨリダイ科魚類をニホンイトヨリと同定、日本初の確実な記録として、日本魚類学会発行の魚類学雑誌に報告しました。つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

【概要】

ニホンイトヨリ *Nemipterus japonicus* は学名の種小名が日本を意味する「*japonicus*」、標準和名にもニホンが含まれますが、これまで日本国内からの確かな分布記録は知られていませんでした。

Nemipterus japonicus は1791年にドイツの魚類学者によって、日本産と誤認された標本に基づき新種として記載されました。200年以上前のヨーロッパの人々にとって日本は遠く離れた未知の場所であり、日本を含むアジア帯の認識は曖昧であったようです。なお、後の研究によりこの標本の産地は日本ではないことが明らかになり、現在ではインドネシアのジャワ島周辺で採集された標本である可能性が高いと考えられています。

また、日中戦争の最中である1938年に日本の魚類学者により *Nemipterus japonicus* に対してニホンイトヨリという和名が付けられましたが、この時も日本における分布の根拠は示されませんでした。

ニホンイトヨリは台湾や東南アジア各地では重要な水産資源となっており、個体数も多いものの、これまで国内で採集された確かな記録はありませんでした。

本研究で報告された標本は、種子島在住の美座忠一さんにより総合研究博物館に寄贈されたものです。種子島産の個体は仔稚魚期に台湾周辺海域から黒潮によって偶発的に輸送されてきて、種子島周辺に定着し、成長した可能性が高いと考えられます。

論文：中村潤平・本村浩之．2021．ニホンイトヨリ *Nemipterus japonicus* の日本からの初めての確かな記録．魚類学雑誌，doi: 10.11369/jji.21-001 (5 pp.)

【関連ページ】

総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ

<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/motomura.html>



種子島産ニホンイトヨリ *Nemipterus japonicus* (鹿児島大学総合研究博物館所蔵標本)

【問い合わせ先】

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授

本村 浩之 (モトムラ ヒロユキ)

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL : 099-285-8111

E-mail : motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp